

草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ンコタコタ県セント・アンズ病院中古救急車整備計画」

引渡式

2016年2月26日



中央写真:関係者による集合写真、左上写真:救急車内の設備をご覧になる西岡大使とムワサンボ保健省保健サービス長官、
右上写真・右下写真:テープカットの様子、左下写真:本事業で調達された中古救急車2台

2016年2月26日、西岡周一郎大使は、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ンコタコタ県セント・アンズ病院中古救急車整備計画」で調達された2台の中古救急車の引渡しを行いました。式典はンコタコタ県のマラウイ湖教区セント・アンズ病院で実施され、マラウイ共和国保健省からムワサンボ保健サービス長官が臨席されました。

セント・アンズ病院はンコタコタ県内に2つある二次医療を提供する病院の一つで、周辺住民約71,000人及び県内住民に医療サービスを提供しています、しかし当地域では救急車が不足しているため、緊急移送が必要な患者を地方の診療所から当病院へ移送することができず、患者への緊急医療の提供が困難となっています。そのため病院は助かる命を助けることができない状況に直面しており、効果的かつ効率的にヘルスケアサービスを提供するには患者の緊急移送が不可欠となっています。当地域の緊急移送サービスの向上を目指し、日本政府は草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、セント・アンズ病院に対し26,385米ドルを贈与しました。同団体

は贈与資金を利用して、日本外交協会を通じて日本から中古救急車 2 台を調達しました。同救急車はそれぞれ、厚木市消防本部及び佐倉市八街市酒々井町消防組合から寄贈されました。

式典で西岡大使はセント・アンズ病院に対して、供与された救急車を使用目的に沿って適切に利用し、救急車の維持管理を徹底してほしいとの考えを示し、救急車サービスを通じてより多くの命を救うことに尽力してほしいと要請しました。また、当病院がンコタコタ県の人々に適切かつ質の高いヘルスケアサービスを継続して提供いくことへの期待を示しました。